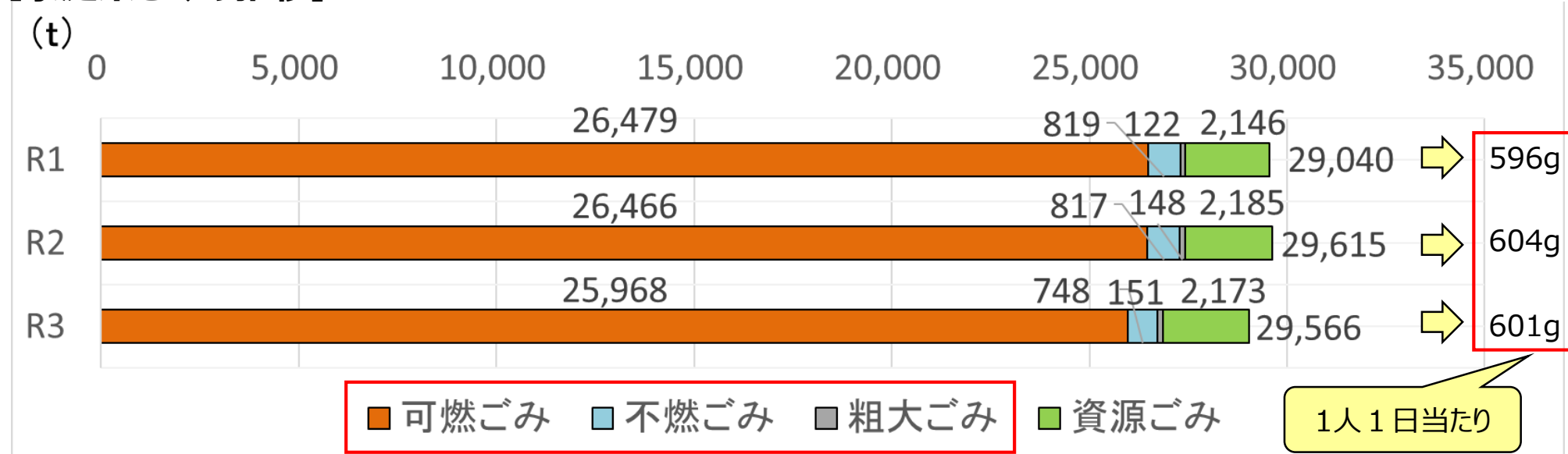


【家庭系ごみの推移】

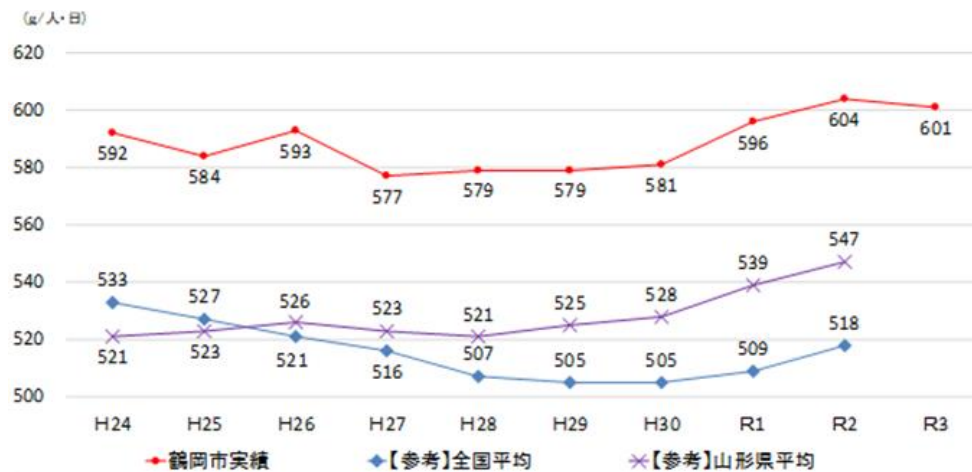


- ① **可燃ごみ**…もやすごみ（茶色のごみ袋、剪定枝 等）
- ② **不燃ごみ**…金属・その他（青色のごみ袋）
- ③ **粗大ごみ**
- ④ **資源ごみ**…プラ製容器包装類（桃色のごみ袋）、
ペットボトル（黄色のごみ袋）、
びん・缶（緑色のごみ袋） 等

★ **1人1日当たりの家庭系ごみの排出量（資源ごみを除く）**

$$= (\text{①} + \text{②} + \text{③}) \div \text{各年度9月末人口} \div \text{各年度日数} \times 1,000,000$$

➡ 全国・県と比べて高止まりの状態推移



1人1日当たりの家庭系ごみの排出量（資源ごみを除く）の推移

【分析方法】

- 家庭系ごみの約9割を占めているもやすごみのサンプル調査を実施。
- 実施日…夏（R4.8.10）と冬（R5.3.8）の年2回。
- 市内の決められたごみステーションから、35袋の茶色のごみ袋を採取し、区分ごとに分類、計量を行った。
- ※剪定枝等、もやすごみの日にごみ袋に入れずに出せるごみについては、サンプルとして採取しなかった。



組成分析の様子

【分析結果】 ※ R4.8.10の結果（R5.3.8の結果は未集計）

① 古紙類（新聞・雑誌・ダンボール・飲料用パック・雑がみ）の混入

- 集団回収や拠点回収に排出すれば紙製品にリサイクル可能。
- 割合9.4%（雑がみは4.8%）。1人1日当たり換算で約50g。

② プラ製容器包装類の混入

- 桃色袋で排出すればプラスチック製品等にリサイクル可能。
- 割合11.3%。1人1日当たりに換算すると約60g。



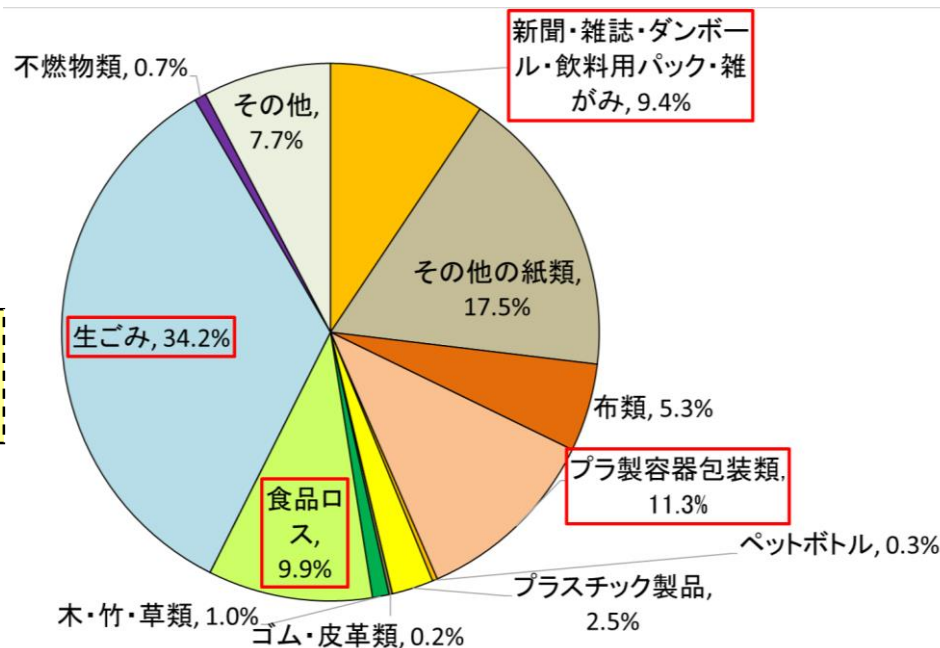
桃色袋で排出された量の約4倍のプラ製容器包装類が、もやすごみに混入していると考えられる。

←混入していたプラ容器

③ 食品ロスの排出

- まだ食べられるのに捨てられている食品。減量可能。
- 割合9.9%。1人1日当たりに換算すると約50g。

※生ごみも34.2%含まれていた。 ➡切りにより減量可能。



8月10日（水）に実施した組成分析の結果

【今後のごみの減量・資源化に向けた方策】

共通の方策

○情報発信の強化

- R4年度分析結果の周知
- ごみ減量の方法…生ごみの水切り、食品ロスの削減 等
- 分別の徹底…特に、プラスチックごみの分別の方法・目安や雑がみの分別方法などを重点的に周知。
- 広報媒体…広報つるおか、エコ通信、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、LINEのプッシュ通知など

○ごみ分別出前講座の促進

○ごみ分別動画の配信 など



LINEのプッシュ通知

古紙類の資源化の方策

○ごみ焼却施設での資源物拠点回収の周知

- 平日及び第3日曜日午前中に、ごみ焼却施設で古着・古紙・小型家電・水銀製品等の資源物の無料回収を実施していることを改めて周知し、利用者の拡大を図る。

※古紙類は、第2土曜日や一部祝日等（ごみ焼却施設の受入日）も排出可能。

○拠点回収場所の拡大

- コミセンを活用した古紙回収のモデル事業を実施。



ごみ焼却施設で回収した古紙類

プラ製容器包装類の資源化の方策

○ごみ袋のデザインの見直し

- 他市のように、透明あるいは半透明なごみ袋への変更を検討していく。



他市のごみ袋の例（酒田市）

食品ロス削減の方策

- 食品ロス削減や生ごみの水切り徹底に向けた**アイデアを市民から募集**する。